

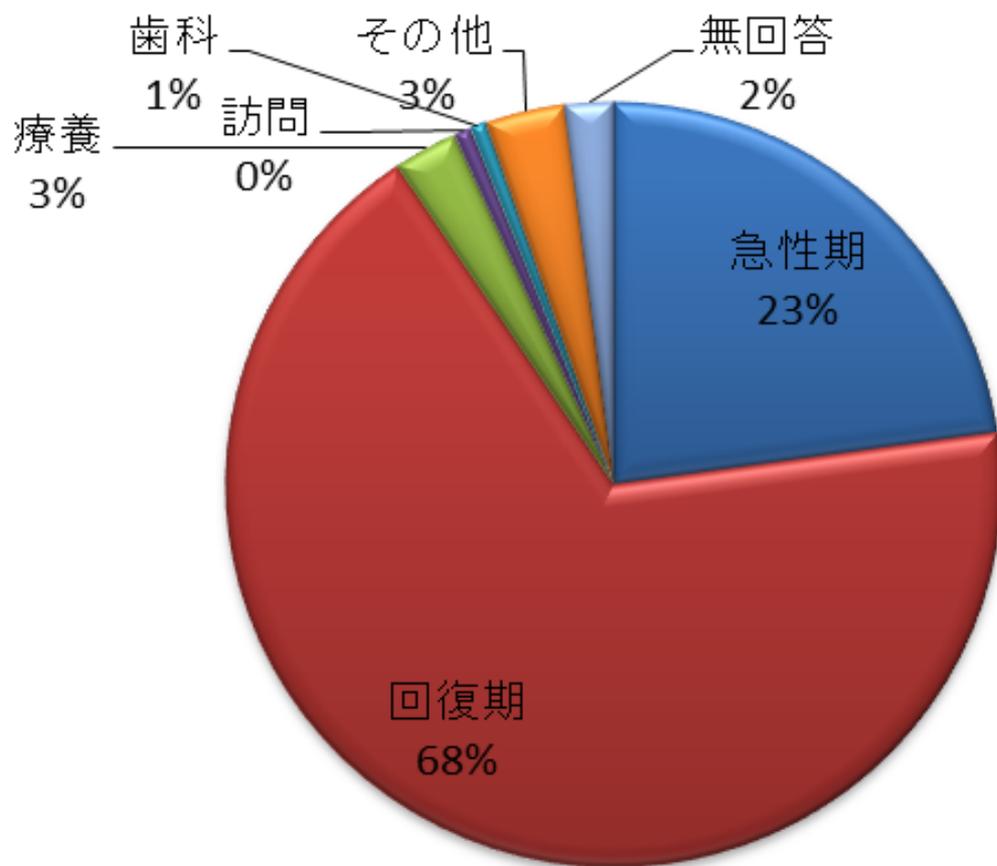
第20回 横浜脳卒中・リハ連携研究会 (Y-CIRCLE)アンケート結果

参加者数: 233名

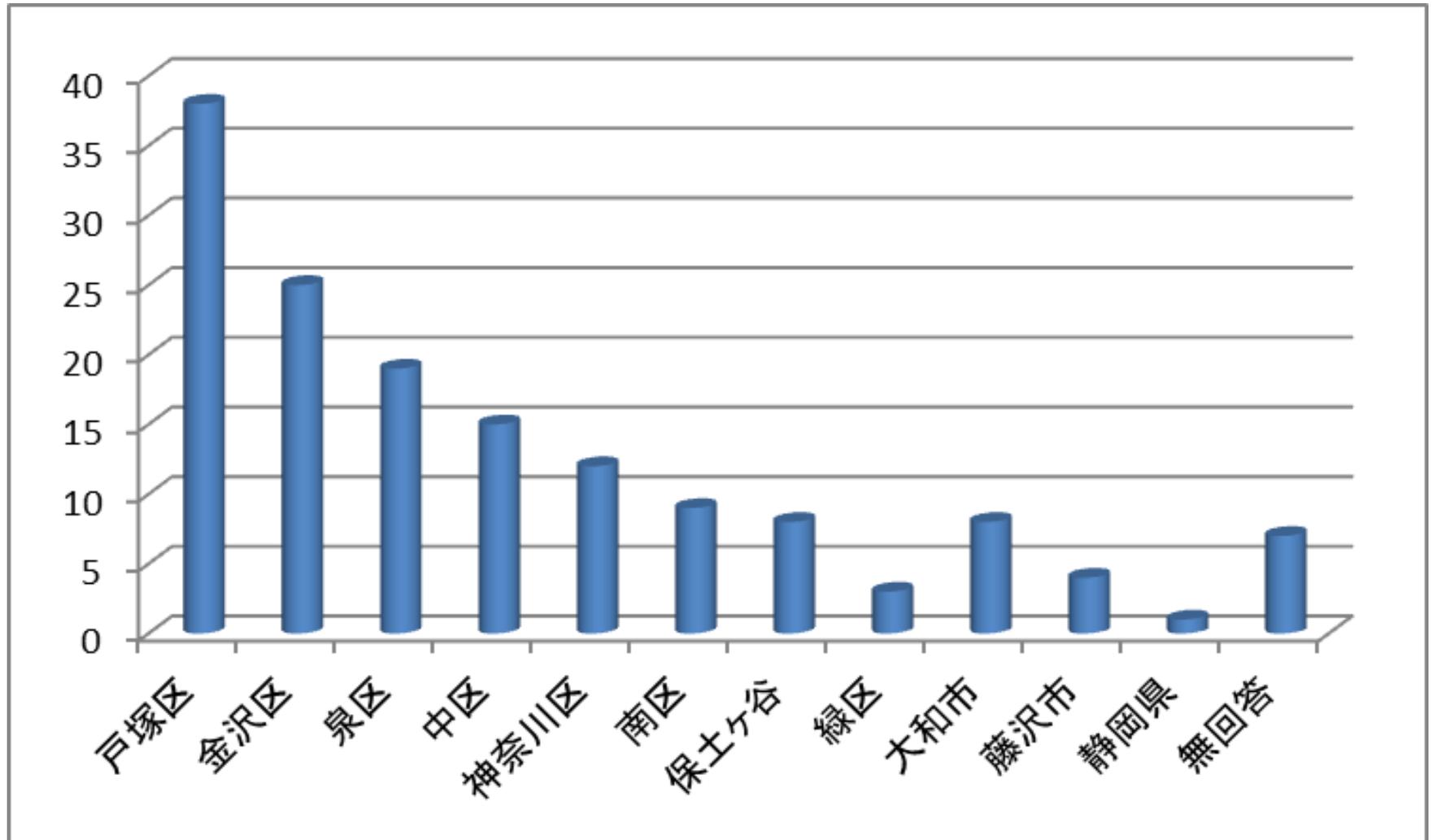
アンケート数: 149名

アンケート回収率: **63.9%**

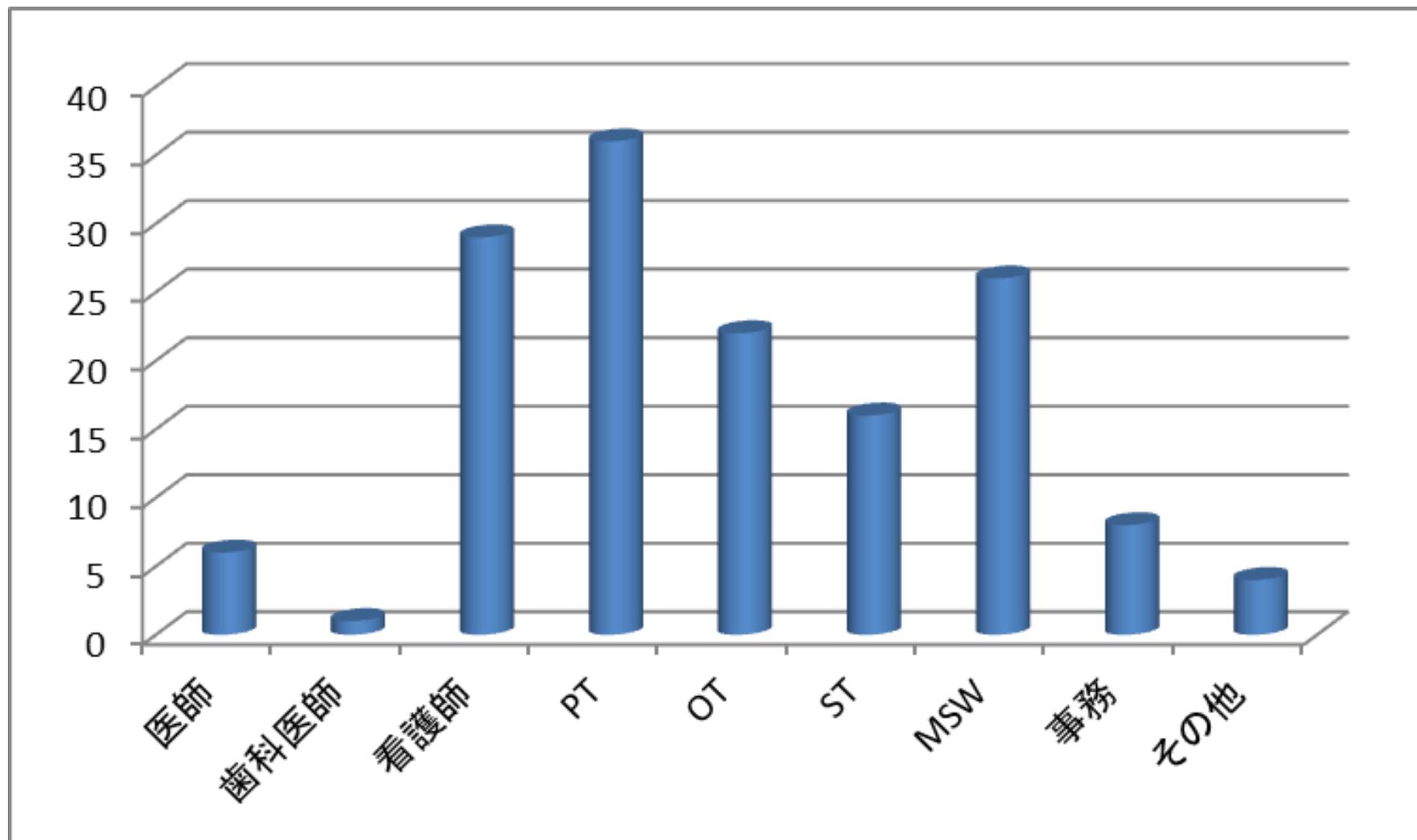
勤務(担当)病棟



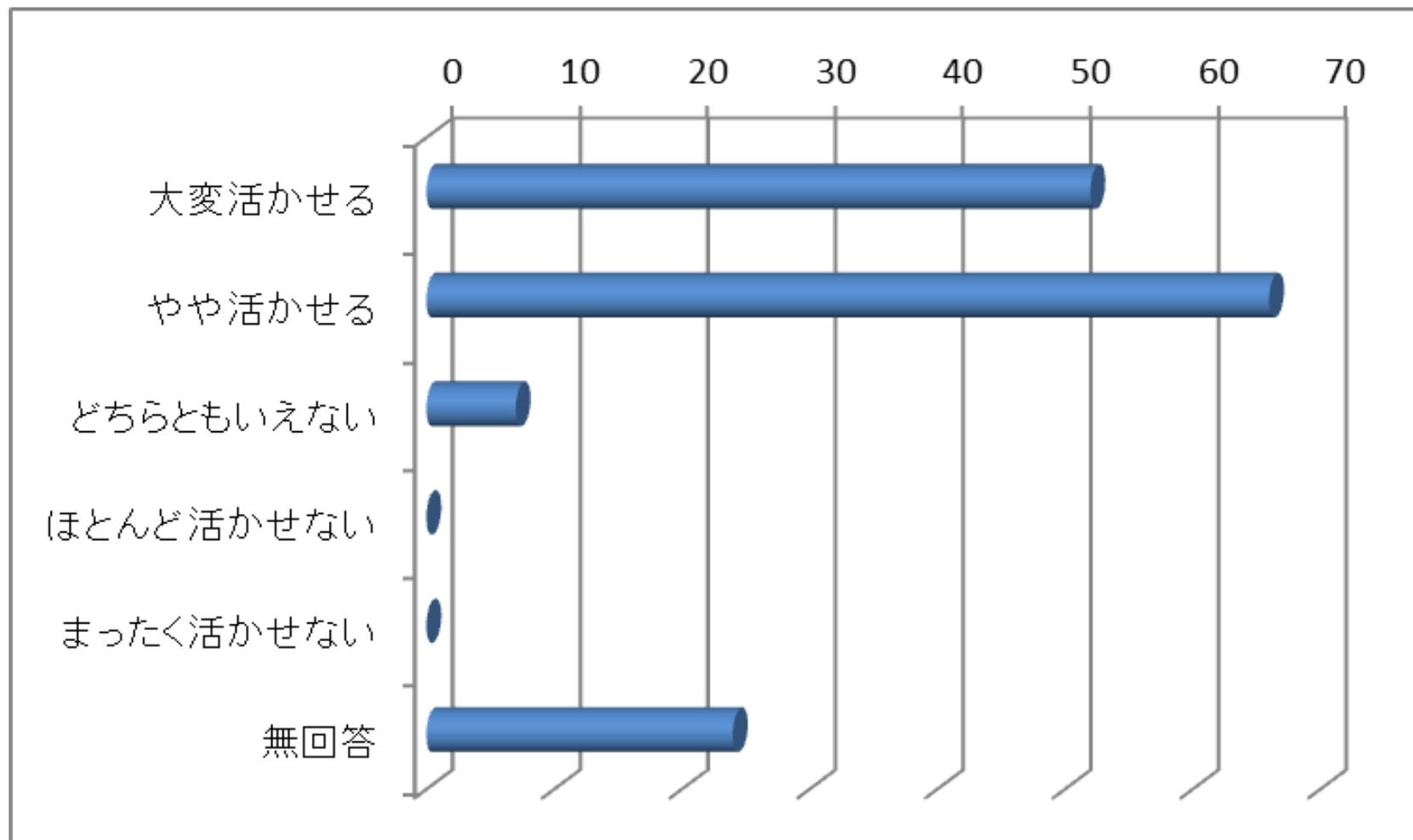
施設住所



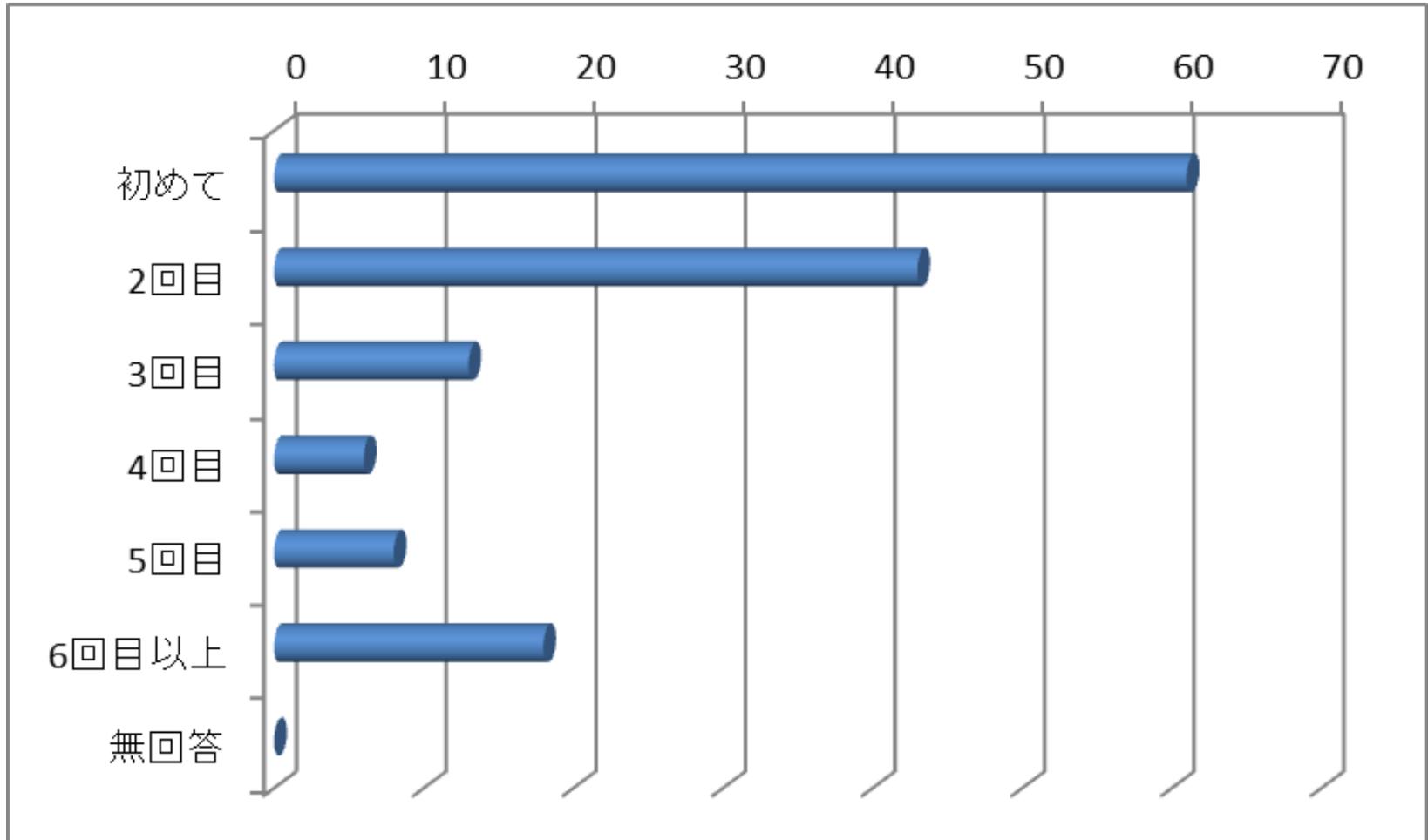
職業



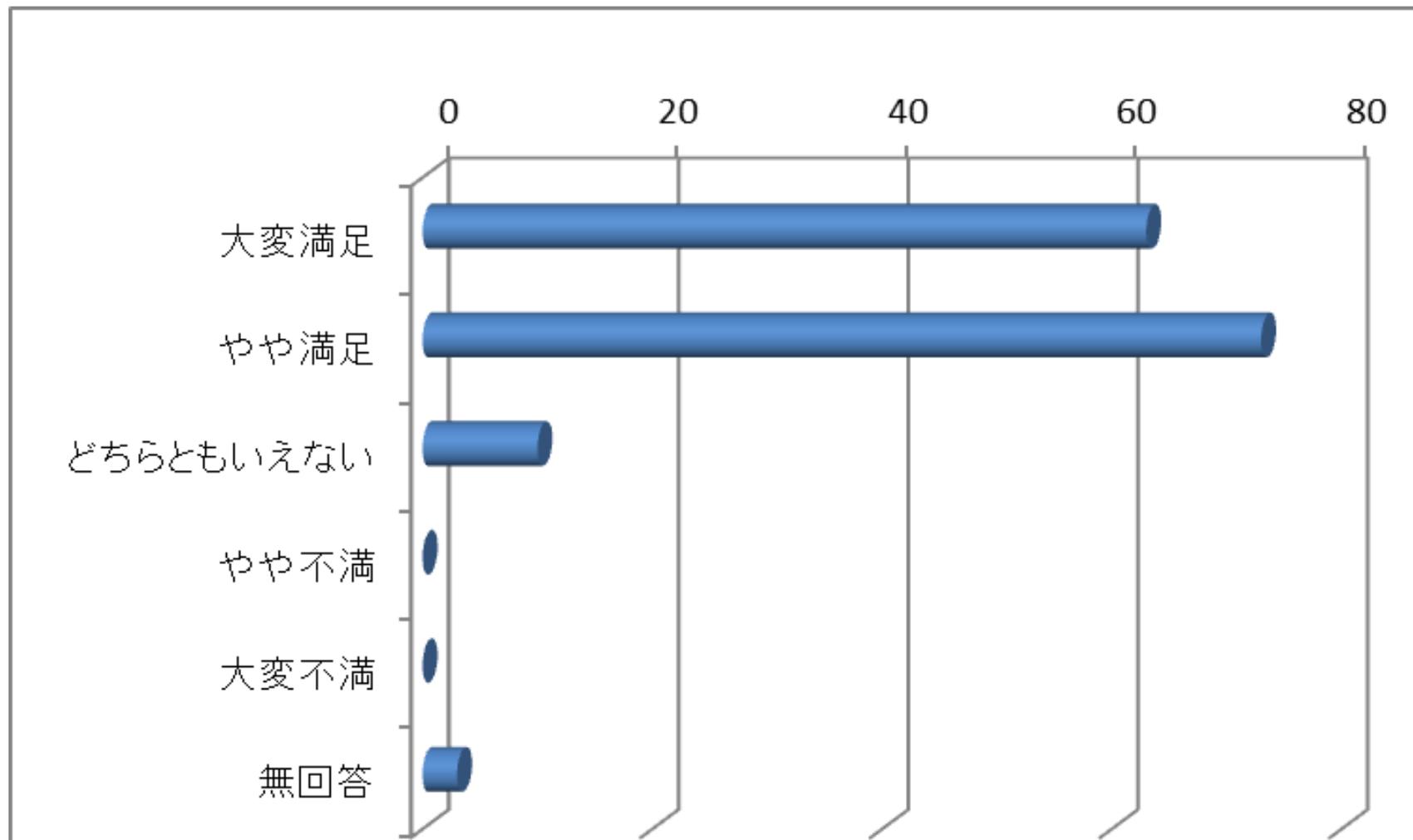
研修内容の業務貢献について



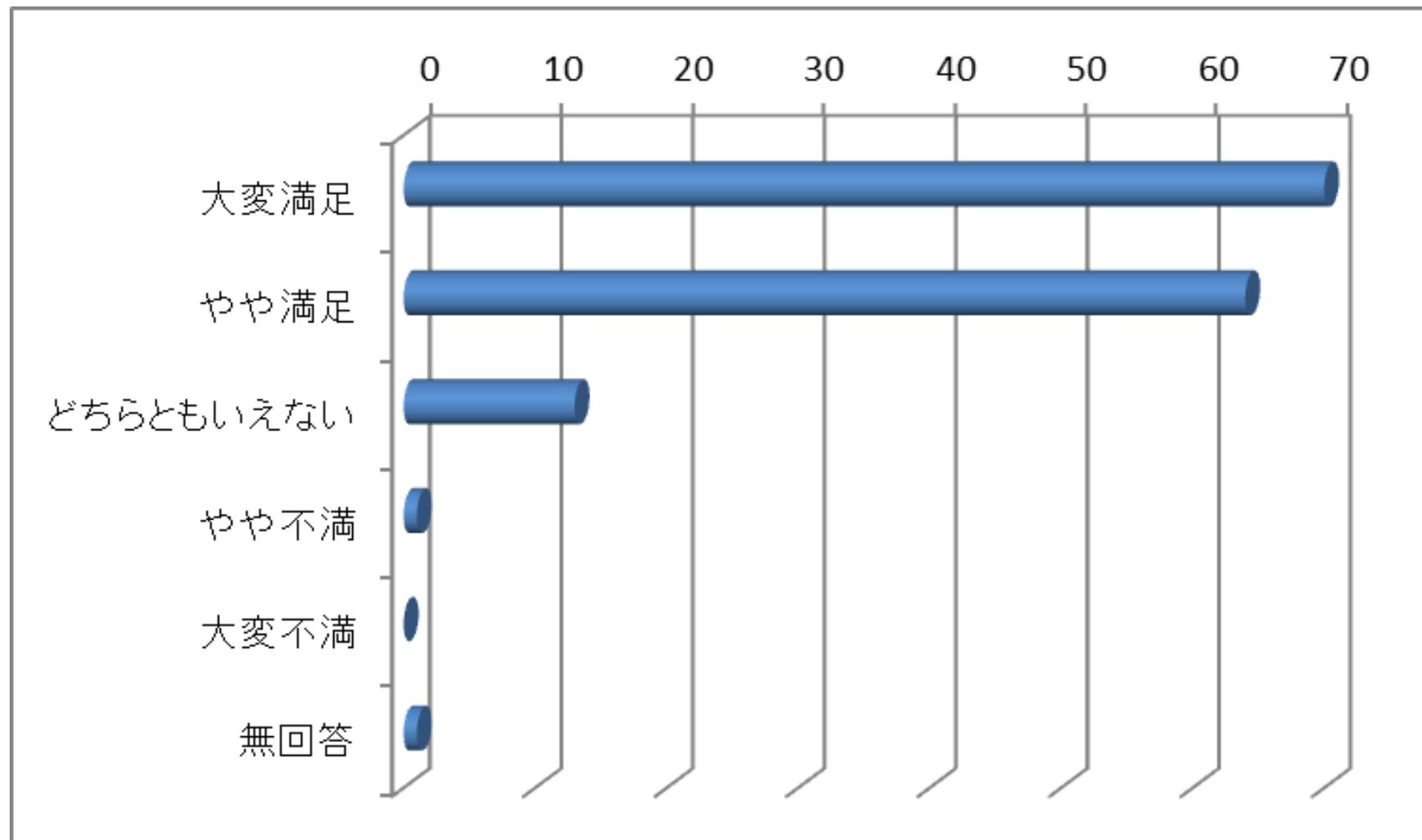
今回は何回目の参加となりますか



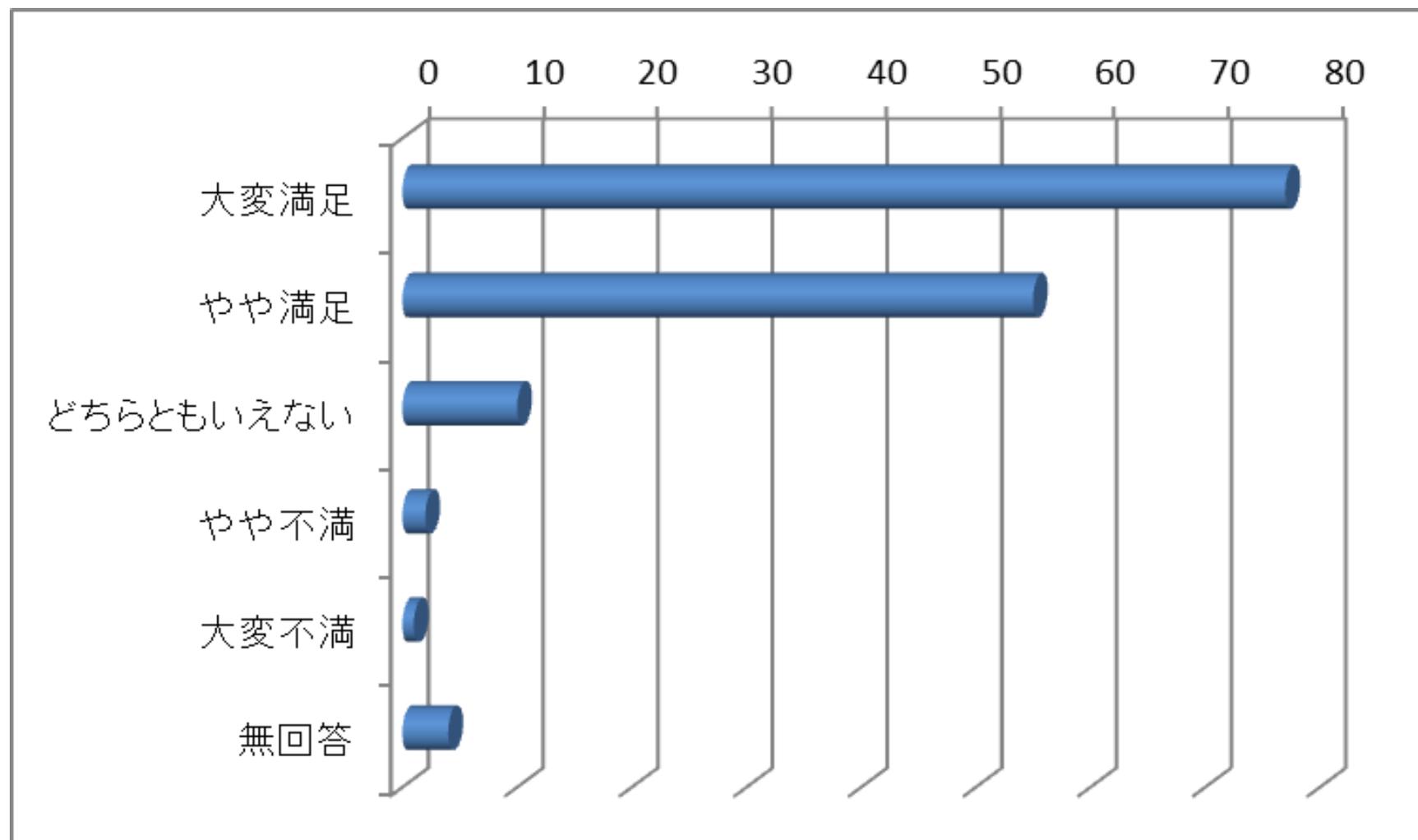
研究報告について



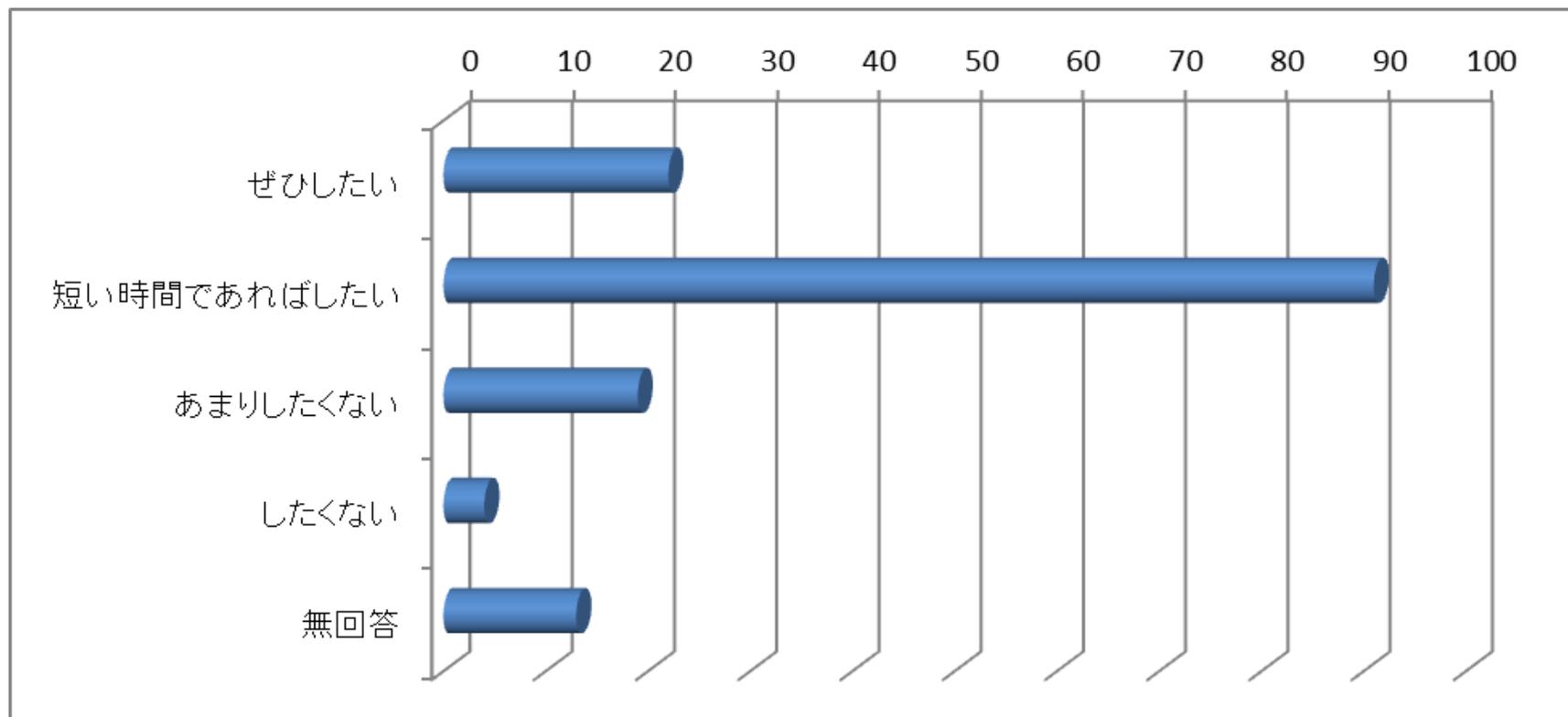
症例リレー



特別講演



研修後、参加者同士でのディスカッションの機会があれば参加したいですか。



第20回横浜脳卒中・リハ連携研究会(Y-CIRCLE)アンケート結果

(回収枚数 149)

勤務(担当)病棟

急性期	回復期	療養	訪問	歯科	その他	無回答	計
34	101	4	1	1	5	3	149

施設住所

戸塚区	金沢区	泉区	中区	神奈川区	南区	保土ヶ谷	緑区	大和市	藤沢市	静岡県	無回答	計
38	25	19	15	12	9	8	3	8	4	1	7	149

職業

医師	歯科医師	看護師	PT	OT	ST	MSW	事務	その他	無回答	計
6	1	29	36	22	16	26	8	4	1	149

研修内容の業務貢献について

大変活かせる	やや活かせる	どちらともいえない	ほとんど活かせない	まったく活かせない	無回答	計
52	66	7	0	0	24	149

今回は何回目の参加となりますか

初めて	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目以上	無回答	計
61	43	13	6	8	18	0	149

研究報告について

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答	計
63	73	10	0	0	3	149

症例リレーについて

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答	計
70	64	13	1	0	1	149

特別講演について

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答	計
77	55	10	2	1	4	149

研修後、参加者同士でのディスカッションの機会があれば参加したいですか。

ぜひしたい	短い時間であればしたい	あまりしたくない	したくない	無回答	計
22	91	19	4	13	149

第17回横浜脳卒中・リハ連携研究会(Y-CIRCLE)アンケート結果

(回収枚数 135)

勤務(担当)病棟

急性期	回復期	療養	その他	無回答	複数回答	計
61	73	5	8	3	15	135

施設住所

金沢区	神奈川区	中区	茅ヶ崎、平塚	藤沢	泉区	保土ヶ谷	戸塚区	静岡	無回答	計
23	5	13	2	2	12	23	40	2	13	135

職業

医師	看護師	PT	OT	ST	MSW	事務	その他	無回答	計
13	26	20	25	20	16	9	5	1	135

研修内容の業務貢献について

大変活かせる	やや活かせる	どちらともいえない	ほとんど活かさない	まったく活かさない	無回答	計
50	60	8	1	0	16	135

今回は何回目の参加となりますか

初めて	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目以上	無回答	計
59	16	19	12	1	26	2	135

研究報告について

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答	計
49	55	18	3	0	10	135

症例リレーについて

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答	計
50	58	19	1	0	7	135

特別講演について

大変満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	大変不満	無回答	計
107	24	1	0	0	3	135

研修後、参加者同士でのディスカッションの機会があれば参加したいですか。

ぜひしたい	短い時間であればしたい	あまりしたくない	したくない	無回答	計
13	85	16	0	21	135

(質問)

●研究会に参加してどのような点が良かったですか

他院の取り組みを知ることができた。

研究報告にあった病院のイブニングリハや早出しリハなど良かった。

他リハの現状を知ることができ自身の病院リハで行うことは何かを考えることができます。

視点が狭くならず広げていくことの大切さに気付いたこと

普段書面上でやりとりをしている他病院の方たちと面識を持てた点

症例リレーで急性期の取り組みを知れた点

他の病院の取り組みが分かる為、参考にできる点

多職種の見点でみる事ができた

他病院の取り組みについて知ることができた

顔が見える関係、連携が作れる

他病院の取り組みを臨場感をもって知ることができる点

理論に基づいたアウトカムがみられて勉強になった。

様々な病院のことを知り、刺激になった。

他院の多職種連携がみることができた

他病院の取り組みが参考になった

担当した患者さんの最終的なゴールが知ることができたこと

他病院の取り組みが参考になった

新しい知見が聞けた

口腔内だけでなく、全身をトータルに診れる研修ができます

ポトックスの内容などは参考になりました

特別講演が臨床に直接活かせる内容だった

CVAに対する治療の様々な話がきけた

貴重な研究データを知ることができた

回復期病院の実際、原先生の講演

他院の取り組みが分かり、地域のレベルアップにつながる点

目に見える交流の場となること

急性期を退院されたのち、患者の流れ、回復をみることができた

他院での工夫が参考になった

他院のリハビリの取り組みが知れてよかった

他院の取り組みが今後の参考になった

他院の取り組みをうかがえて、是非当院でもマネしたいと思った

離床活動が参考になった

院外の動向把握ができて良かったです

顔が見える連携や情報共有、取り組みの参考になった

他病院の取り組みを知り刺激となった。特別講演も大変良かったです

他病院の積極的な取り組みが参考となりました

(質問)

●研究会に参加してどのような点が良かったですか

他職種との連携

新しいことを教えてもらった

特別講演

他の病院の回復期の取り組みを知れてよかった

他の病院の取り組みを客観的に見られたこと

病病連携について、知る機会となったこと、麻痺の回復ステージ理論について知ることができた点

他病院におけるリハビリや症例を学べたこと

他院の取り組みを知ることができたこと

最新の治療について知ることができた

急性期から自宅退院までの一連の流れが分かりやすかったです

他病院の取り組みや特別講演を聞くことができ参考になった

病院紹介が、今後、情報提供する際に参考になる

新しいリハビリの展開を知る機会となった

特別講演

原先生をはじめ、自身にない考え方や評価法を認識できた

他病院の退院調整を見られて選択肢が増えました

看護の取り組みがあったこと

各病院の連携が分かった

急性期から在宅までの流れが分かりやすかった

実際に実務に活かせる支援方法や介入のポイントが多く勉強になった

症例リレーを聞き、自分が知らない回復期病院での過ごし方を知ることができた

急性期からリハビリでの一連の流れうい見れて、自宅での生活も聞けて良かった

開催回数が減らないこと、内容が陳腐化していないこと、医師以外の参加が精力的なこと

Y-CIRCLEの一体感があるところが好きです

他病院の関わりを知れて勉強になった

他の病院の取り組みについて知ることができてました

多くの病院と会えること

急性期から回復期でのアプローチが聞けてよかった

症例リレーをはじめて聞きました、急性期、回復期のアプローチが聞けてよかった

メディカルの積極的な発言が良かった

参加者の顔が見える

リハビリがどのように活動しているか分かってよかった

他病院がどのような取り組みをしているか勉強になる

他病院の取り組みを学び、明日にでも取り組んでいこうと思った

他施設を比較することで、自施設のことを知ることができた

チームアプローチを具体例を通して学ぶことができた

医師およびメディカルスタッフにも勉強になったこと

(質問) ●研究報告について感想をお書きください

1人の患者さんに対して多職種の関わりを学んだ

7時から21時までリハビリはうらやましい患者を判定会議なしで受け入れられているのは素晴らしい

イブニングリハビリなど他病の取り組みを知れて勉強になった

イブニングリハや起床～朝食前のリハに興味を持った。

なにかしら当院のリハに生かして患者様のADL,QOL、感情の向上に繋がりたいと思いました。

もう少し内容的を絞ってお話していただけるとより内容が理解しやすかった

もっと質問する時間が欲しかった

リハビリと栄養の関係について興味深い

リハビリやMSWの関わりで患者さんのできることが増えることはスゴイと思った

医療従事者の連携により在宅へ帰宅可能になると改めて学んだ

栄養ゼリーのことについて考える機会を得られました

回復期病院では自動車運転リハビリまで行うことは知りませんでした

看護の協力体制が整っていることが印象的でした

看護部主導によるフェイシャルマッサージ、女性患者の退院後の生活へのモチベーションにつながりそうで興味深かった

既存のフレームを壊すことも必要だと感じた

自院にはない取り組みをされていたため、とても参考になりました

取り組みがよい

新たな情報収集ができたと思う

睡眠、リハビリ以外の活動時間、確かに重要なのだと改めて考えさせられました

生活期における対象者の様子までつながってくることで入院中の生活の意味がより深くなるように感じました

早朝、イブニングリハなど隙間なく積極的なリハビリを行っていて参考になった

他院の現状を知ることができてよかった

他病院でのリハビリでの取り組むを知ることができたこと

退院後の追跡調査、イブニングリハなど興味深い

当院では行えないことを知ることができて参考になりました

同じリハビリ病院での介入の仕方が違う介入方法があることがわかった

同じ回復期として、取り組みが刺激となった

同じ回復期としてアウトカムを意識して研究をされており大変勉強になりました

同じ回復期の取り組みを知り刺激になった

独自のイブニングリハを実施されていて素晴らしいと思った

独自の取り組みが興味深い

日頃の取り組みがうかがえました

分かりやすかった

良かったです。もっとゆっくり聞きたかったです。

(質問) ●聞いてみたい症例リレーのケース

①怒りの強いキャラクター ②肝不全、腎不全、心不全などの合併症で難渋した症例

20代から30代働き盛りの人の復職への支援や心理的な支援

運動支援、復職、高次脳機能障害

何かテーマに特化した事例がよい

回復期→回復期へ転院した方の例

回復期に難渋したが予定変更して自宅復帰できた症例など

急性期発表が冗長にならないように。特に保存的な治療で済んだ症例は簡潔に。

映っていることは述べなくてよい。

他施設からの議論が盛り上がるような症例

高次脳機能障害が残存しつつ在宅復帰した例

高次脳で動ける方

高次脳在宅退院症例

高次脳機能障害

高次脳機能障害の復職した症例

高次脳機能障害を持った方の復職まで出来たケース

高次脳機能障害患者の回復期過程

高次脳障害がある方の在宅退院（独居）のケース

自宅での看取りのケース

自分たちがやったことが、次にどのようにバトンタッチしているのか知れたので、逆に私たちがやらないといけない(情報の伝達)

失語や鬱、注意障害に対するアプローチ

終末期への症例リレー

申し送りの仕方で工夫したことを知りたい

生活期での様子が知りたい

生活保護に該当しないレベルの経済状況でKP不在の時、どのように自己決定を支援するのか

生保独居と社会的に難しい中、20病日目に受け入れされた若草病院が素晴らしいと思った

脊損などの連携があれば聞きたいと思いました

脱抑制が重度の症例

難しいケースでの在宅退院への働きかけ、具体的な社会的支援について知ることができた

病病連携により在宅への移行が今後の地域包括に役立つと思われる

不穏患者の症例

復職へのケース

老々世帯の在宅復帰マネジメント

(質問) ●聞いてみたいテーマや講師がいればお書きください。

BMI、NIRSなど

リハビリ病院の看護師の役割について

医師にもわかる、医師でない方々にもわかるような語の努力を求めるべき

運動能力の回復と栄養の関係等のお話し

宮本哲夫先生 脳卒中からの呼吸障害リハビリ

講師：森岡周（畿央大学教授） テーマ：身体制システム学に裏づいた急性期、回復期リハの役割について

高次機能障害について

高次脳

高次脳、失語がある方の職場復帰、社会参加。在宅での嚥下障害。高次脳、嚥下障害のある方の対応。

高次脳について

高次脳の話が聞きたかった

高次脳機能障害

高次脳機能障害

高次脳機能障害に対するリハ、ロボット関係

最新のリハ、失語、高次脳など

失語や鬱、注意障害

石川誠先生（輝生会）

千葉県救急医療センター 占口先生、日医大武蔵小杉病院 三品先生（千葉県脳卒中連携パスについて）

東京湾岸リハ病院 近藤先生

早期離礁について

認知症

歩行ロボットの現状・エビデンス

●その他・要望等ございましたらご自由にご記入ください。

テーマと違う内容で残念でした

開始時間が遅い（18時30分から20時30分まででお願いしたい）

今日の研究報告や症例リレーはもう少し質問時間が欲しかった。概要でいいので特別講演の資料もほしい。

概要でいいので特別講演の資料もほしい。

治療によってはどこでもできるわけではないものもあるのでどこでもできるような内容も聞いてみたい。

車の運転再開のアプローチ

人が多く、室温が高かったと思います。室温管理をお願いします。

特別講演は難しすぎる